

令和4年度第2回 学校運営協議会 議事録

校名	府立思斉支援学校
校長名	井上 昌二

開催日時	令和4年11月24日(木) 10:00~10:50
開催場所	府立思斉支援学校 3階 学習室
出席者(委員)	栗山会長(太子橋小学校校長)、赤坂副会長(今市中学校校長)、石山委員(旭区大宮連合振興町会第16町会会長)、井上委員(PTA役員)、三木委員(旭区障がい者基幹相談支援センター管理者)
出席者(学校)	井上校長、上野事務長、紙野教頭、末吉教頭、橋本首席、酒井首席、村上首席、中務首席
傍聴者	0名
協議資料	令和4年度 学校経営計画及び学校評価 GIGA スクール構想の取組み~Rainbow Project Teamのチャレンジ~

議題等(次第順)
<p>1 校長あいさつ</p> <p>2 令和4年度 学校経営計画進捗について</p> <p>3 GIGA スクール構想進捗について</p>
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>2 令和4年度学校経営計画について (4つの中期的目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆安心安全な学校生活を送る体制をつくる。 ◆障がいの多様化に応じた教育活動の展開ができるよう教職員の資質向上を図る。 ◆小学部・中学部・高等部の継続性のある系統的なキャリア教育を実践する。 ◆特別支援教育のセンター的機能を発揮し開かれた学校づくりを推進する。 <p>それぞれの目標に対して設定している具体的な取り組みについて進捗状況を説明した。</p> <p><質問・意見等></p> <p>委員A) 訪問相談について 訪問相談とはどのようなものか。</p> <p>校長) 思斉支援学校の校区にある小学校・中学校・高等学校等からの依頼に基づいて、本校のLS(リーディングスタッフ)を派遣している。相談内容への助言、教材の提供、教職員に対する研修を行っている。</p> <p>委員A) どこが訪問支援をとりしきっているのか。</p> <p>校長) 思斉支援学校は、東淀川支援学校、光陽支援学校とチームを組んでセンター的機能の役割を果たしている。本年度は東淀川支援が幹事校となって、担当の割振りをしている。</p> <p>委員B) 本校も思斉支援学校の訪問相談を受けている。</p> <p>委員C) 中学部で実施している自転車のメンテナンスはどの程度のことをやっているのか。</p> <p>酒井) 自転車の清掃、パンクの修理、タイヤ交換等を行っている。</p> <p>委員C) 私は自転車屋をしていたので自転車のプロであるので、ぜひとも協力したい。</p>

紙 野) それは、大変心強い。こちらからご協力をお願いしたい。

自転車整備は、委員D様よりご紹介いただいた事業であり、お礼申しあげる。

委員D) 訪問相談について、地域の小学校に紹介することもあるが、制度が十分に浸透していないように思える。どのように伝えているのか。

中 務) 校区の保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校等には、4月に訪問支援の利用について案内を出している。

訪問相談の利用については、旭区の学校に比べて、城東・鶴見区の学校の利用が多い。理由については把握できていない。

紙 野) 本校支援室では、校内支援の一環として特別支援教育の情報を発信するために、支援室日より「思斉のしせい」を発行している。本校の校区にある学校園でも役立てていただける内容も扱っていることから全ての学校園に配信している。

委員B) 支援学校から届いた情報は、特別支援コーディネーターに伝えられる。そこから学校全体に情報がおろる。

3 GIGA スクール構想進捗について

日本で一番 iPad を活用している支援学校をめざした本校の取組み内容の進捗状況を説明した。iPad 利用促進を目的とした業務をソフトバンク株式会社にアウトソーシング（業務委託）している。

<質問・意見等>

委員E) 本校も職員会議の資料はペーパーレス化している。また、自動採点ソフトを使って働き方改革に結び付けている。両校の取組みの共有を今後進めていきたい。

委員B) 本校も ICT 活用の取組みを進めているが、まずは教員も子どもたちも「慣れる」ところからスタートした。低学年は、2学期になってようやくタブレットを触りだす感じで試行錯誤している。職員会議や情報活用の仕方を参考にしたい。

委員C) プロジェクトを進めるうえで行った教員の意識調査では、自己評価が低いように感じる。現場の先生は十分に頑張っているように思う。

委員B) タブレット利用の促進に仕向けて、180人超の教職員の意識を変えていくのは大変に思う。

<そのほか全般的な意見等>

委員E) コロナ対応はあるが、学校間交流は継続していきたい。

委員D) タブレットの活用は、支援学校でこそ重要だと思う。現在、療育やセラピストの業界では、一般と異なる活用方法をしているところがある。子どもたちも使っているのだから、学校も活用方法を探してほしい。支援学校のソフト開発にも期待している。

委員A) GIGA スクール構想の取組みは保護者にも配信してもらえないか。学校の取組みについて、十分ではないと話す保護者もいらっしゃる。

紙 野) 教員は自分のやっていることを発信することが苦手である。しっかりアピールしていきたい。

以上説明し、了承された。

次回の会議日程	
日 時	令和5年2月17日（金）
会 場	府立思斉支援学校 学習室